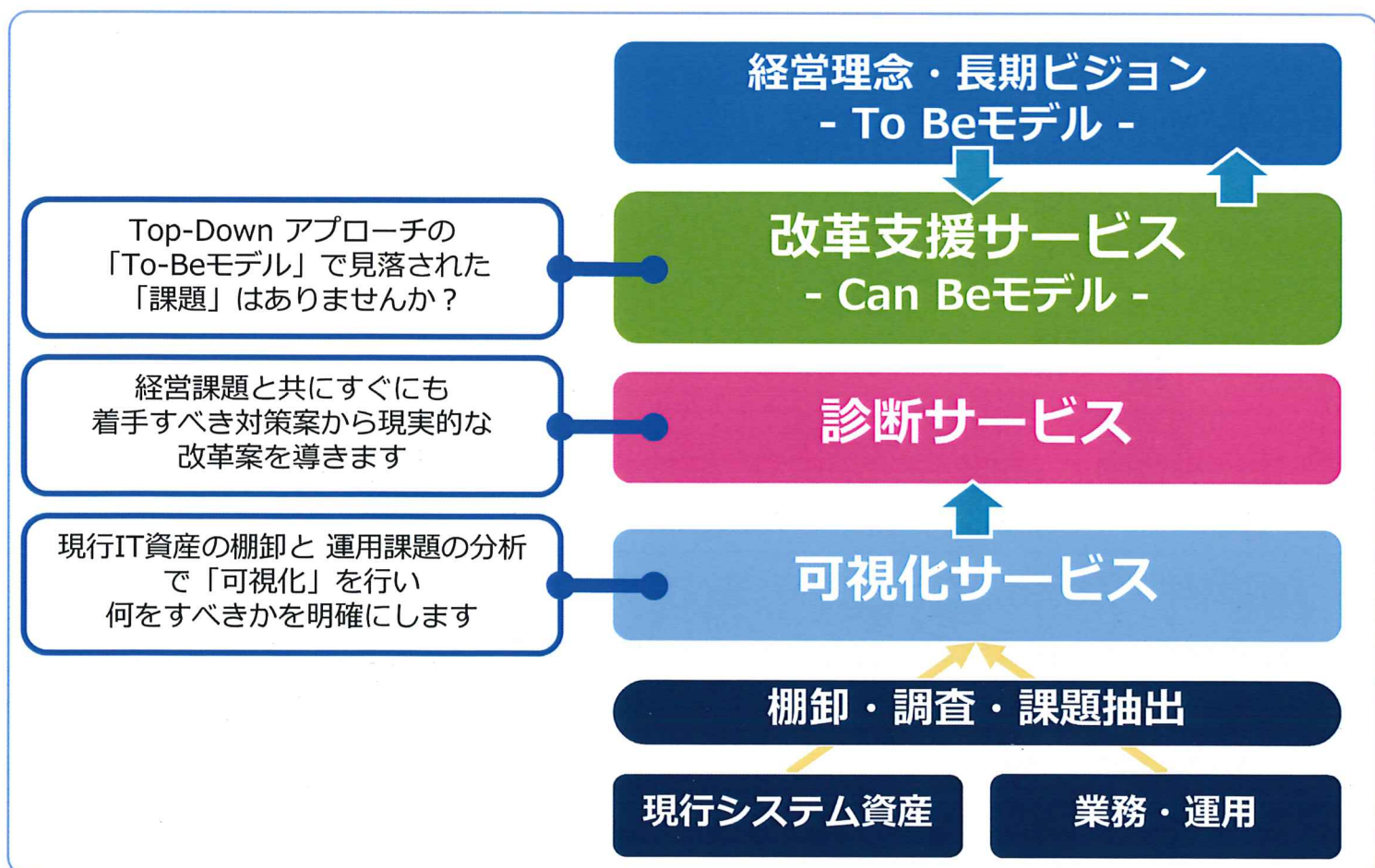
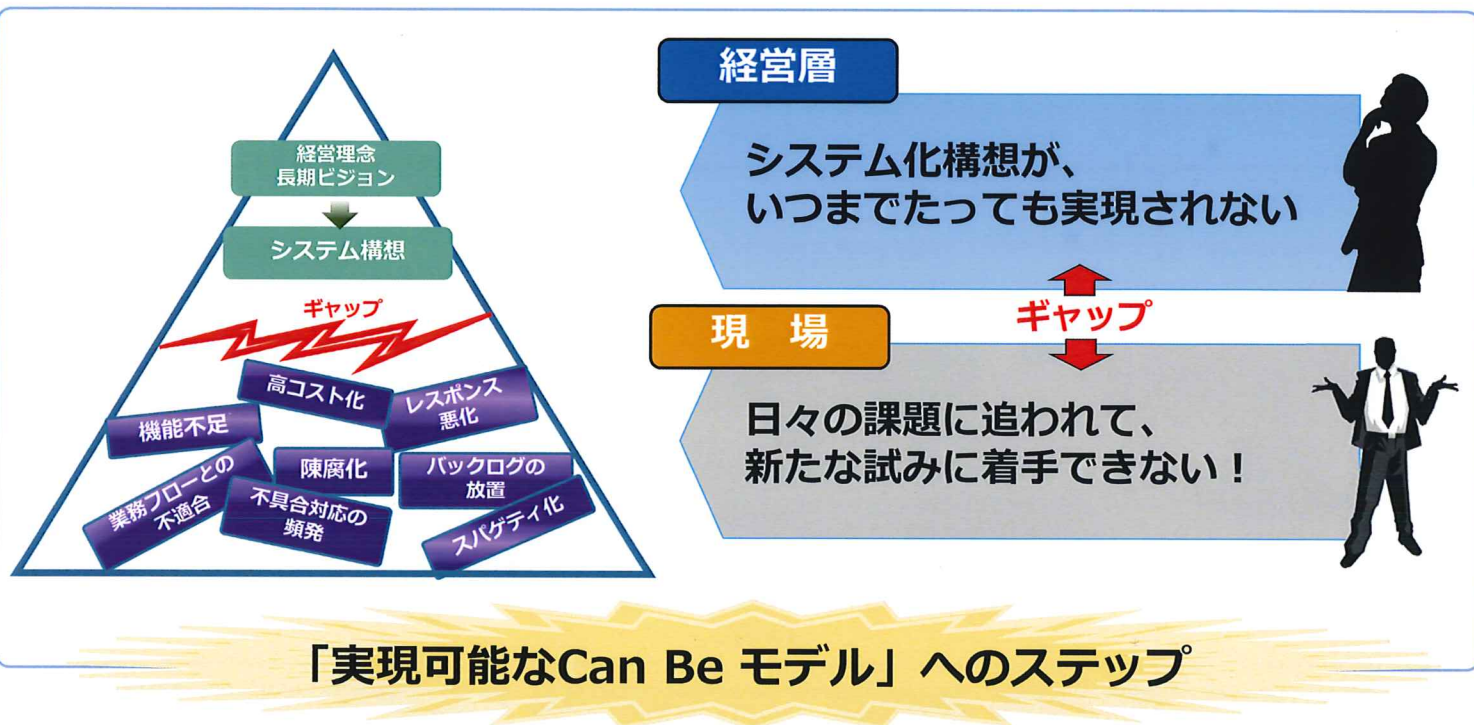




IT 総合診断

現場の課題を見据えたアプローチで「実現可能な改革案」を！

見えない課題が、システム改革の**妨げ**になる



01 可視化サービス

1st Step Visualization Service

ツールを活用し、
現行システムの把握と
整理（棚卸）を行う

-----★-----
現行システムを正確に把握出来ていないお客様が数多くいらっしゃいます。そのために、
・本当に対処すべき課題
・経営戦略に必須の要件
を正しく認識・共有できるようシステム全体の現状を明確化します。

02 診断サービス

2nd Step Diagnostic Service

可視化による現状分析から
カルテを作成し、整理した
課題の解決策を探る

-----★-----
システムの現状は「静的な資産」だけでなく運用上の課題などを含めた「動的な資産」として評価する必要があります。つまり多角的な診断が大切です。さらにそれぞれの課題・要件の解決策・実現方法を検討してレポートを作成します。

03 改革支援サービス

3rd Step Can Be Model Planning Service

現有資産の活用も
視野に入れた
現実的な改革案の立案

-----★-----
診断結果を基に実現可能な改革案（Can Be モデル）を、ニーズに応じて
・現有資産を活用した改善案
・PKG活用ベースのIT計画
・経営計画実現への要件定義（概要）
・FA（応急処置）等
を作成・ご提案します。

事例1：不動産仲介業者様の場合

～ ご相談内容 ～

システムが上手く活用
されていないのでは？



経営者

～ IT総合診断の実施 ～

フェーズ1 可視化サービス
フェーズ2 診断サービス

～ 調査・分析結果 ～

- ・全機能の4%しか
利用していなかった！
- ・支社ごとに手順が異なる
- ・作業の重複と属人化

～ Can Beモデルの立案と実行 ～

- ・全社標準業務フローの策定と統一化の提案
- ・業種特化型パッケージとのFit & Gap、評価・選定

【効果】

最適なパッケージを
短期かつ安価で導入

全社共通の
業務手順を確立

ランニングコストを
大幅削減

事例2：自動車部品製造業者様の場合

～ ご相談内容 ～

【経営者】
システム保守の作業を
50%減らしたい

【業務責任者】
効率の良い運用は
どうすれば良い？



～ IT総合診断の実施 ～

フェーズ1 可視化サービス
フェーズ2 診断サービス

～ 調査・分析結果 ～

- ・課題整理ができていない
- ・運用工数の高いものを整理
- ・ツール化可能な作業の洗い出し
- ・合理化、自動化できるものを選別

～ Can Beモデルの立案と実行 ～

- ・新しい『運用業務手順書』の作成
- ・運用監視ツールの提案・作成



【効果】

運用ツールの刷新

年・週・日別
運用手順の体系化・標準化

システム保守作業を
35%削減